

病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修

病院勤務の医師、看護師等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識について修得するための研修を実施することにより、病院での認知症の人の手術や処置等の適切な実施の確保を図ることを目的とする。

○ 研修対象者

各都道府県及び指定都市管内の病院で勤務する医師、看護師等の医療従事者とする。

○ 実施主体

都道府県・指定都市(事業の一部を適切な事業運営が確保できると認められる関係団体(各都道府県医師会等)等に委託も可)

○ 研修カリキュラム

目的(10分)	
ねらい	認知症の人の入院に際して、認知症とケアの基本を理解する
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題(研修の背景) ・認知症高齢者の現状 ・急性既病院における認知症の治療・ケアの課題 <ul style="list-style-type: none"> ・研修の目的 ・入院中のケアの問題
対応力(60分)	
ねらい	認知症の人のアセスメント、入院中の対応の基本を習得する。
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の診断基準(DSM) ・入院の際に留意が必要な認知症の症状と要因・誘因 ・認知症の事例(BPSD) ・認知症ケアの展開における4つの視点 <ul style="list-style-type: none"> ・入院加療・退院をスムーズに進めるための4つの視点 ・身体合併症の回復過程に応じた認知症ケアの視点 ・せん妄の問題
連携等(20分)	
ねらい	院内・院外の多職種・他職種連携の意義を理解する 管理者として取り組む体制や環境整備の意義を理解する
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・適切でスムーズな医療・ケアを提供するために ・連携により期待される効果 <ul style="list-style-type: none"> ・「管理者」の目的

○ 研修実績と新オレンジプランでの目標

22,096人(26年度末実績) → 87,000人(29年度までの目標)